

十二使徒シリーズ

⑤ピリポ (Philip)

ヨハネ 1:43-46

2020.5.24 HKJCF

1

概観

第二グループのリーダーを務めたピリポは、慎重な人で、現実的で物事をなかなか信仰の目で捉えられない弱さを持っていた。

アウトライン

1. ピリポの賜物 ヨハネ 1:43-46
2. ピリポの性格 ヨハネ 6:1-7; 12:20-22
3. ピリポの限界 ヨハネ 14:1-11

2

1. ピリポの賜物 ヨハネ 1:43-46

- 1) ピリポを見つけて V43: 初めて呼ばれた弟子; イエス様が主導権; 従っていくこと。
- 2) ベツサイダ出身 V44: ガリラヤ出身のイエス様に親近感; アンデレとペテロが同郷。
- 3) ヨセフの子イエス V45: ロコミでナタナエルにイエス様を紹介; 相手の興味に合わせる。アンデレの紹介と違う (1:42); 人間的な側面。
- 4) 来て、そして、見なさい V46: 伝道する時、言い争いを避ける; 見て判断してもらう。

3

3

2. ピリポの性格 ヨハネ 6:1-7; 12:20-22

- 1) 三つのしるし: カナの婚礼 (2:1-11); 王室の役人の子供 (4:46-54); ベテスダの池の病人 (5:1-15)。ピリポはすべての奇蹟を目撃した。
- 2) 四つ目のしるし: 5000人の奇蹟 (6:1-14); ピリポは試された=奇蹟→信仰の成長?
- 3) 200デナリ 6:7: マネージャー? 約8か月の月収; 現実的で視野が狭く、期待が薄い。
- 4) 前例がない: 自分のメリットを使わない (12:21); 慎重にアンデレに確認する (12:22)。

4

4

3. ピリポの限界 ヨハネ 14:1-11

- 1) お別れのスピーチ: 十字架にかかり、昇天される前に、弟子たちを安心させ備えさせる。
- 2) 父を知り、父を見た V7: 御子は父なる神と一つである; 御子を通して父なる神を知る。
- 3) そうすれば満足する V8: 自分の理解方法、自分のこだわり; 肉眼で見えて、五感で神様を感じ取り、何の疑いもなく→モーセのように。
- 4) イエス様の言葉と御業 V11: 福音の教えと心の変化の業; ヒエラポリスで殉教。

5

5

適用

①現実の中で、信仰の目で生きるように:
神様の力とご介入に対する信頼をもって、
できることを最善に尽くし、結果をゆだねよう。

②しるしを求めないで、「道」を歩むように:
イエス様が「道」なので、イエス様に対する
理解を深めていくように。

6

6